

令和6年3月8日

愛南町議会

議長 佐々木 史仁 殿

内海中学校の利活用に関する特別委員会

委員長 石川 秀夫

内海中学校の利活用に関する特別委員会報告書

本委員会に付託された事件を調査したので、愛南町議会会議規則第76条の規定により、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

《第1回》

- 1 日時 令和5年10月3日(火) 午前10時00分から
- 2 開催場所 大会議室
- 3 出席委員(13名)
尾崎恵一、嘉喜山茂、池田栄次、吉田茂生、少林法子、石川秀夫、金繁典子、鷹野正志、原田達也、中野光博、山下正敏、那須芳人、吉村直城
佐々木史仁(オブザーバー)
- 4 欠席委員 なし
- 5 調査事項
内海中学校の利活用に関する調査研究
- 6 説明員 なし
- 7 調査内容
検討方針について協議し、先進的海洋センター整備事業については、採決により調査事項から除外することになった。
①改修費について、②合意形成について、③教育委員会の審議について、④議会に対する説明不足の4点について、教育委員会に資料の提出を求め、調査を行うこととした。

《第2回》

- 1 日時 令和5年11月2日(木) 午後3時00分から

- 2 開催場所 大会議室
- 3 出席委員(13名)
尾崎恵一、嘉喜山茂、池田栄次、吉田茂生、少林法子、石川秀夫、金繁典子、
鷹野正志、原田達也、中野光博、山下正敏、那須芳人、吉村直城
佐々木史仁(オブザーバー)
- 4 欠席委員 なし
- 5 調査事項
内海中学校の利活用に関する調査研究
- 6 説明員の職及び氏名
教育長 児島秀之、学校教育課 課長 岩井正一、同補佐 二神裕暁
- 7 調査内容
教育委員会から提出された学校統廃合検討委員会の会議録、公立小中学校再編
に関する答申書に係る保護者説明会会議録、教育委員会会議録等の資料をもとに、
内海地域における小中学校再編に係る経緯について調査した。

《第3回》

- 1 日時 令和5年11月10日(金) 午後1時30分から
- 2 開催場所 議員協議会室
- 3 出席委員(13名)
尾崎恵一、嘉喜山茂、池田栄次、吉田茂生、少林法子、石川秀夫、金繁典子、
鷹野正志、原田達也、中野光博、山下正敏、那須芳人、吉村直城
佐々木史仁(オブザーバー)
- 4 欠席委員 なし
- 5 調査事項
内海中学校の利活用に関する調査研究
- 6 説明員の職及び氏名
教育長 児島秀之、学校教育課 課長 岩井正一、同補佐 二神裕暁
- 7 調査内容
前回に続き、教育委員会から提出された学校統廃合検討委員会の会議録、公立
小中学校再編に関する答申書に係る保護者説明会会議録、教育委員会会議録等の
資料をもとに、内海地域における小中学校再編に係る経緯について調査した。
教育委員に出席要求することにした。

《第4回》

- 1 日時 令和5年12月1日(金) 午前10時00分から
- 2 開催場所 議員協議会室
- 3 出席委員(12名)
尾崎恵一、嘉喜山茂、池田栄次、吉田茂生、少林法子、石川秀夫、金繁典子、

原田達也、中野光博、山下正敏、那須芳人、吉村直城
佐々木史仁(オブザーバー)

4 欠席委員 鷹野正志

5 調査事項

内海中学校の利活用に関する調査研究

6 説明員の職及び氏名

教育長職務代理者 酒井平雄、

教育委員 大野甲子彦、松田恵子、上原京子

学校教育課 課長 岩井正一、同補佐 二神裕暁

7 調査内容

論点の一つである「教育委員会の審議」について調査した。

《第5回》

1 日時 令和6年1月23日(火) 午後1時30分から

2 開催場所 議員協議会室

3 出席委員(13名)

尾崎恵一、嘉喜山茂、池田栄次、吉田茂生、少林法子、石川秀夫、金繁典子、
鷹野正志、原田達也、中野光博、山下正敏、那須芳人、吉村直城

佐々木史仁(オブザーバー)

4 欠席委員 なし

5 調査事項

内海中学校の利活用に関する調査研究

6 説明員の職及び氏名

学校教育課 課長 岩井正一、同補佐 二神裕暁

7 調査内容

教育委員会から公立小学校再編計画修正素案の資料提出を求め、修正素案に対する保護者からの回答について説明を受けた。

調査研究結果の取りまとめを行った。

調査結果報告

当委員会は、内海中学校の利活用に関する調査研究について取りまとめたので、その結果を報告する。

(1) 現状及び背景

「家串小学校と柏小学校は、内海中学校（令和6年度再編決定）跡の改修等の準備が整う、令和7年度に再編する。」とする愛南町公立小中学校再編計画について、町民や保護者から、教育委員会の十分な資料と説明に基づいて合意形成されたのか、特に、内海中学校の改修費用が高額で1億3,700万円から9,400万円まで推移した

経緯についても疑問の声があった。そこで、再編計画が決定に至る過程について調査すると共に、内海中学校が閉校となった場合の利活用の可能性について研究することとした。

(2) まとめ

愛南町公立小中学校再編計画については、教育委員会が再編計画を疑問とする町民及び保護者の声並びに当委員会との協議を受け、改めて保護者説明会の開催等の合意形成の機会を設けたことにより、「家串小学校と柏小学校は、令和9年度までの再編について、協議（意見交換）を続ける。」と、再編計画を変更する方向性が示された。当委員会としては、今後、公立小中学校再編計画等の重要な計画を進める上においては、保護者説明会、地域住民説明会、教育委員会等において、将来予測や関係する予算等の十分な資料と説明に基づき議論を進めることはもとより、状況の変化があった場合は、その都度関係者に対する丁寧な説明を行うよう提言する。

なお、内海中学校の利活用については、学校施設として利用する可能性が残されたため、協議の結果、具体的な利活用の議論は行わないこととしたが、将来において閉校となる場合は、速やかに利活用についての協議を進めることを求めるとの意見があった。

以上、内海中学校の利活用に関する特別委員会の意見を集約した報告とする。

なお、当特別委員会において、付託された事件を完了したことにより、内海中学校の利活用に関する特別委員会は終了する。